

南九州 畜産獣医学拠点 を知る

—第3回—

市は鹿児島大学と連携し財部高校跡地に「南九州畜産獣医学拠点」の整備を進めており、令和6年4月1日の運用開始を目指しています。今回は、産業動物モデル飼育エリアについて詳しくご紹介します。

産業動物モデル飼育エリアって？



Q1

何をするところなの？



次世代閉鎖型畜舎を設置し、民間の事業者が黒毛和種の一貫飼育を行い、鹿児島大学が鶏の飼育を行います。全国の獣医学生などが実践的な産業動物の臨床実習を行います。



Q2

次世代閉鎖型畜舎って？

畜舎にファンを設置し、一方向から風を流すことで、動物の病気の原因となる害虫などを排除できる畜舎です。健康な動物を育て、アニマルウェルフェア（動物福祉）に配慮した畜産経営を実践します。



Q3

臭気対策は大丈夫？

新しく家畜を飼養するため全く臭いが無いとは言えませんが、ファンにより畜舎内に常時風が流れることで、臭いが滞留せず拡散されるため一般的な畜舎よりもかなり低減できます。



Q4

アニマルウェルフェア（動物福祉）ってなに？

動物が快適で、健康的な生活が送れるように配慮して飼養することです。これからは、動物の幸せも考慮した次世代の畜産経営が世界的に求められていきます。



Q5

なぜ豚がいないの？

防疫上の観点から豚は飼養しないこととしています。豚と鶏の間でインフルエンザウイルスが感染してしまうことを避けるためです。曾於市は養豚も全国トップレベルなので、研修や研究ができるよう養豚業者の方や鹿児島大学と連携していきます。

※イラストはイメージです

【産業動物モデル飼育エリアに関連するSDGs】



次回は、馬エリアについて詳しくご紹介します。

主なスケジュール（予定）

令和4年8月 研究棟・教育棟・連携棟改修工事着工
牛舎・鶏舎新築工事着工
令和5年3月 研究棟・教育棟・連携棟改修工事完了
牛舎・鶏舎新築工事完了
令和5年中 馬エリア施設整備
令和6年4月 運用開始

